

ピア★ネット monthly Oct 2013

★ピア・ネット・マンスリーの発行について

ピア・ネット・マンスリーは、ピア・ネットで活躍する各部局の学生スタッフ活動の一部をトピックスとして紹介するものです。ピア・ネットの活動を学生と教職員に広く知ってもらうことを目的に、月1回の割合で発行していきます。

《ピア・ネット事務局》

🍃 第1回ビブリオバトル開催しました (市ヶ谷)

市ヶ谷図書館では、10月10日(木)昼休みに、ライブラリーサポーター企画「第1回ビブリオバトル」を開催しました。

ビブリオバトルとは、発表者が自分のおすすめする本を5分間で紹介し、最も読みたくなった本(=チャンプ本)を参加者全員の投票で決定する書評合戦です。

発表者である4名の学生は、緊張しながらもそれぞれ個性あるプレゼンテーションをしてくれました。参加者全員にとって、新しい本との出会いはもちろんプレゼン方法を考える良い機会にもなったのではないのでしょうか。

観客多数の投票の結果、経営学部4年の吉原さんが紹介した『植物図鑑』(有川浩,2013,幻冬舎)がチャンプ本に選ばれました。

今回のビブリオバトルで紹介された本は、以下の通りです。

- 1 『できる大人のモノの言い方大全』 話題の達人倶楽部編
- 2 『まどろみ消去』 森博嗣[著]
- 3 『植物図鑑』 有川浩[著]
- 4 『ドミノ』 恩田陸[著]



当日の司会進行を担当した
ライブラリーサポーターの皆さん



発表者は時間との戦いです



🏆 チャンプ本に選ばれた吉原さん
のプレゼンテーション

企画から実施まで担当してくれたライブラリーサポーターの皆さん、お疲れさまでした。

🍃 ビブリオバトルの感想の一部をご紹介します。

- ・人前での発表がかなり難しいと感じました。良い刺激になりました。
- ・「こういう紹介の仕方もあるのか〜！」と感心しました。
- ・発表のしかたに工夫があって、聴いていて楽しかったです。
- ・話し方など参考になりました。どの本もひき込まれて、選ぶのが大変でした。
- ・それぞれが個性的でとても面白かったです。発表の4冊をさっそく読んでみたくまりました。
- ・紹介してもらった本がとても読みたくなりました。
- ・新しい本との出会いがあって面白かった。



最後は発表者全員で記念撮影



● 課外教養プログラム（学生センター）

「ヒーロー、法政を救う。」が公演されました

「俺は、正義の味方になるんだ！」
 ゴミのポイ捨て。場所をわきまえない飲酒喫煙。横並びでの歩行。廊下占拠。
 食器放置。- 気になりませんか？校内のマナー。
 誰が片付けるの？ 誰が注意してくれないかな…誰かって、誰ですか？
 「学校にお母さんはいないんだよ！」

法政大学二部演劇研究会が、マナー・モラルについて大真面目に考えた結果、大変ユニークな芝居ができあがりました。9月26日（木）から28日（土）の3日間、市ヶ谷キャンパスで学生センター・課外教養プログラム「大学生が考えるマナー・モラル向上キャンペーン」として、法政大学二部演劇研究会による啓発劇「ヒーロー、法政を救う。」が公演され、82名が観劇しました。



大学ピブスを着用して活動しました



拾ったゴミを分別します



★ ボランティアセンター

(市ヶ谷) キャンパス周辺清掃ボランティアを実施しました

10月3日(木)の5限、市ヶ谷ボランティアセンターではキャンパス周辺清掃ボランティアを実施しました。8・9月が夏期休暇中だったため久々の実施となった今回ですが、参加学生も多かったため、市ヶ谷方面と飯田橋方面の2方向に分かれ、主に外濠公園沿いを清掃しました。

いつものように、空き缶やペットボトルの放置ゴミに加え、今回はタバコの吸い殻が多く目につきました。特に、ところどころに設置されたベンチ沿いに多く散乱しており、中にはご丁寧にゴミ箱の上に並べてあるものもありました。(ここは喫煙所ではありません、の張り紙むなしく…)

また、先日は本活動の参加者が、授業の空いている時間に自主的に清掃活動を申し出てくれたりと、発展的な活動にも結び付いています。一度参加してみると、周りのゴミが目につくようになるようです。

市ヶ谷ボランティアセンターでは、毎月キャンパス周辺の清掃活動を実施しています。ぜひ、お気軽にご参加ください。

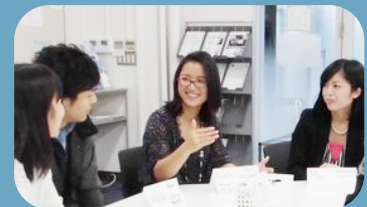
◆ 学習ステーション

学生スタッフがGラウンジにて英会話プログラムを実施中

キャンパス内で「英語を話したい!」と思っても、何となく照れくさくて、友人同士の英会話練習をためらってしまった経験があると思います。毎週水曜日のGラウンジでは、学生が中心になって、英語で対話する環境を作っています。

毎回、今話題のテーマを決めて、意見交換のような形でカジュアルな英会話を楽しんでいます。ネイティブスピーカーのマリリンさんが学生たちの会話をあたたかく見守ってくれ、英語の表現や異なる考え方についてもアドバイスしてくれます。

日頃の学習ステーションにおける活動に加えて、Gラウンジにおいても今後も学生スタッフが元気に活動してまいります。



◆ 編集後記 ◆

市ヶ谷図書館にて第1回目のビブリオバトルが開催されました。ちょうど顔見知りの学生が登場すると聞いて応援に駆けつけました。会の終了後、思うようにプレゼンテーションができずに悔しがっている学生を頼もしく思いました。「みんなの前で恥をかく」というリスクを背負うことができただけでも意味があったと思います。年を取ると恥をかくことを避けて、なかなか新しいことに挑戦しなくなります。そんな自分を戒める機会となりました。ピア・ネット・マンスリーについてのご感想をお待ちしております。